

フィリピン アグリビジネス振興・金融アクセス強化プロジェクト（フェーズ2）

農業振興を通じたミンダナオの平和を目指す「HARVEST」
円滑な実施と開発効果の発現に貢献



ミンダナオ島にて融資候補先への事業内容の聞き取り

揺らぐことのない平和構築への取り組みが進むフィリピン・ミンダナオ島のバンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治地域（BARMM）。日比政府間の合意に基づき、国際協力機構（JICA）とフィリピン土地銀行（LBP）は2017年1月、ツーステップローン型の円借款「アグリビジネス振興・平和構築・経済成長促進事業（HARVEST）」の契約を締結した。

同地域におけるLBPによる中小零細企業や農業協同組合への融資を通じて、農業関連ビジネスを促進し、雇用機会創出や生計向上をもたらすことで、政府と対峙してきたモロ・イスラム解放戦線（MLF）戦闘員とその家族をはじめとする地域住民の暮らしを安定させる、いわば平和の配当を届けることが目的だ。

平和の配当を人々に

協力成果の波及に期待

HARVESTの円滑な実施と開発効果の一層の発現を目指し、付帯技術協力プロジェクトとして実施されたのが本事業であり、①パリエューション（VC）アプローチの普及促進、②中小零細企業、農業協同組合などの金融アクセス能力強化、③LBP職員の能力強化、などで成果を上げた。特に、同地域でポテンシャルの高い海藻VC関係者間の覚書締結やVC支援テンプレート（TLP）の整理などを通じ、他の農作物VCを振興する基盤を作った。また、借手側への研修により融資や金融リテラシー向上のニーズが喚起されたほか、インドネシアや日本での研修を通じて、LBPでは動産担保融資（ABL）やデジタル化などの具体的な検討が進展する模様。今後の同地域やその周辺地域への成果波及が期待される。



インドネシアでの第三国研修（農業協同組合の枠組みやイスラム金融制度について学ぶ）



本邦招へい（日本における農業ビジネス・農業金融の事例紹介）



バナナ生産者組合と買い取り業者との利益配分契約署名式典